

## 新型コロナウイルスに関する農林水産省対策本部（第7回） 概要

日時 : 令和2年3月9日(月) 15時35分～16時05分

場所 : 農林水産省第1特別会議室

出席者 : 江藤大臣、河野政務官、藤木政務官、事務次官、農林水産審議官、官房長、総括審議官、総括審議官(国際)、危機管理・政策立案総括審議官、統計部長、報道官、消費・安全局長、食料産業局長、生産局長、経営局長、農村振興局長、政策統括官、農林水産技術会議事務局長、林野庁長官、林野庁次長、水産庁長官、北海道農政事務所長、東北農政局長、北陸農政局長、関東農政局長、東海農政局長、近畿農政局長、中国四国農政局長、九州農政局長

内容 :

### 1 本部長御発言(大臣)

総理から、第2弾の緊急対応を明日10日にも取りまとめることのご発言があった。総理からは、過去の例にとらわれることなく、しっかりと対応してほしいと言われているので、各局庁ともしっかりと対応していただきたい。

更に、中国・韓国からの入国制限も始まっており、花に限らず、肉、魚、木材等、あらゆるものが大きな影響を受ける可能性がある。何が、どこで、どのように起こっているのか、状況を的確に把握することから対策は生まれてくるので、アンテナを高くして対応していただきたい。

昨日、伊東農林水産副大臣に北海道の現地対策本部を立ち上げていただいた。道内の関係者ととともに事業継続のためのガイドラインを作成いただくことになっている。全国でも、感染者が出た場合にどうしたらいいか迷っている方が沢山いるので、本省でもそういう方々に一定の方向を示すガイドラインを作成したい。

この会議室をはじめ、本省の玄関や地方農政局でも沢山の花を飾っている。報道各社をはじめ、各ご家庭におかれても、花を飾っていただけるとのご協力をお願いします。また、この機会に、地産地消、国産の農林水産物を食べる国民運動を広げていきたいので、皆様のご協力をお願いしたい。

— プレス退出 —

### 2 新型コロナウイルス感染症政府対策本部(第18回)について 危機管理・政策立案総括審議官より説明。

### 3 武漢からの帰国邦人宿泊施設における支援要員について 危機管理・政策立案総括審議官より説明。

### 4 農林水産省における影響と対応

食料産業局長、政策統括官、生産局長、林野庁長官、水産庁長官、経営局長、農村振興局長、地方農政局から報告。

<江藤大臣>

この会議を含め、あらゆる会議について、マスク着用と室内換気の徹底をお願いします。各局庁の報告から、大変危機的な状況であることがヒシヒシと伝わってくる。明日には緊急対応策第2弾を公表するが、引き続き今後の対応について検討していただきたい

い。

北海道の現地対策本部では、伊東副大臣の指示を仰ぎながら、今週中にはガイドラインが発出できるよう努力していただきたい。本省のガイドラインは、12日に自分（大臣）が確認をして、金曜日に発出できるようにしたい。

職員が認識を共有し、同じ方向を向いて努力すれば、必ず解決法が見つかるはずなので頑張っていこう。

<藤木政務官>

食肉市場が出荷制限や受入制限をしていないとの報告があったが、制限をするのは仲買人であって、食肉市場ではない。生産者は、食肉市場に出しても買い手が付かないので、地元のと畜場に出そうとするが、と畜場は約1か月先まで予定が決まっていて出せず、悲鳴が上がっている状況。現場と先程の報告には少し乖離がある。九州からのものが留まっていて、神戸がほとんど出せない状態とも聞いている。現場の状況を正確に把握していただきたい。

<江藤大臣>

大胆な対策を組むために思い切ってやろう。それには職員の協力が必要なので、引き続きよろしくお願ひしたい。

以上